

## 第2章 杉並区の概況

### 1. 位置および地形

杉並区は、東京都23区の西側に位置し、東は中野区、渋谷区、西は三鷹市、武蔵野市、南は世田谷区、北は練馬区と接している。区の形状はおおむね方形であり、面積は34.02km<sup>2</sup>で23区中8番目の大きさである。



図

2-1 杉並区の位置図

本区は、武蔵野台地のほぼ中央に位置し、地形は全般的にみて平坦で、東部がやや低く、西部に向かうに従って次第に高くなっている。中央部を善福寺川が、南部を神田川が、北部を妙正寺川が、それぞれ西から東へと流れ、この流域沿いは周囲よりやや低くなっている。

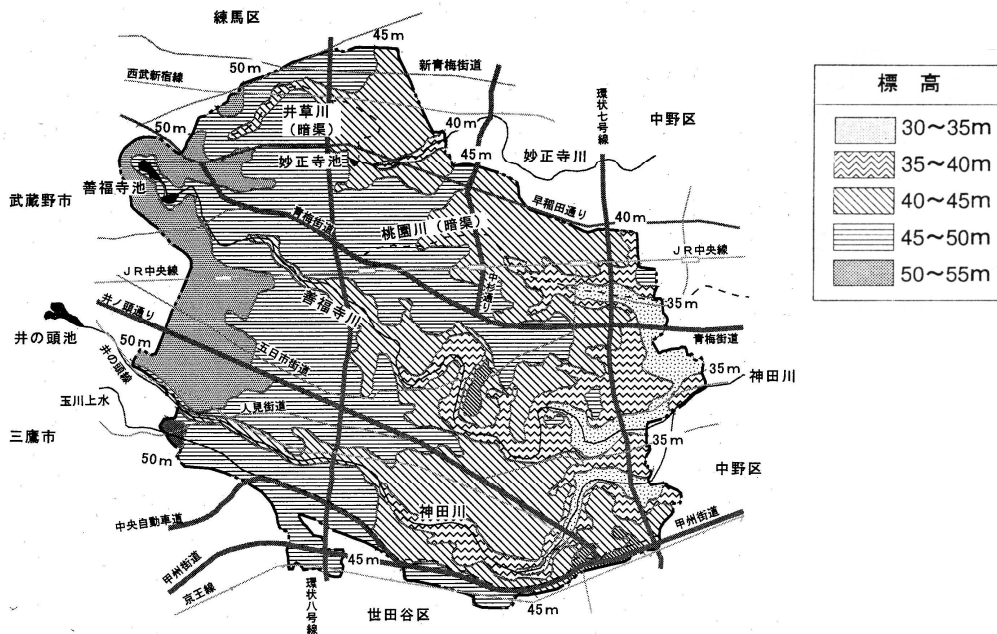


図2-2 杉並区の地形概要

## 2 . 杉並区の今昔

図 2-3 は、明治 13 年頃の区の中央部を測量した地形図の一部である。当時は、鉄道も開通していないため、青梅街道が唯一の移動手段であった。青梅街道沿いには集落が点在し、善福寺川はいく筋にも分れ(図下部の水色)両岸は水田(黄色)であったことが分かる。また青梅街道両側の台地には、畑(茶色)が広がっており、樹林地(緑色、黄緑色<竹林>)は、善福寺川沿いの斜面部に多く残され、みどりが豊かな農村であったことが分かる。

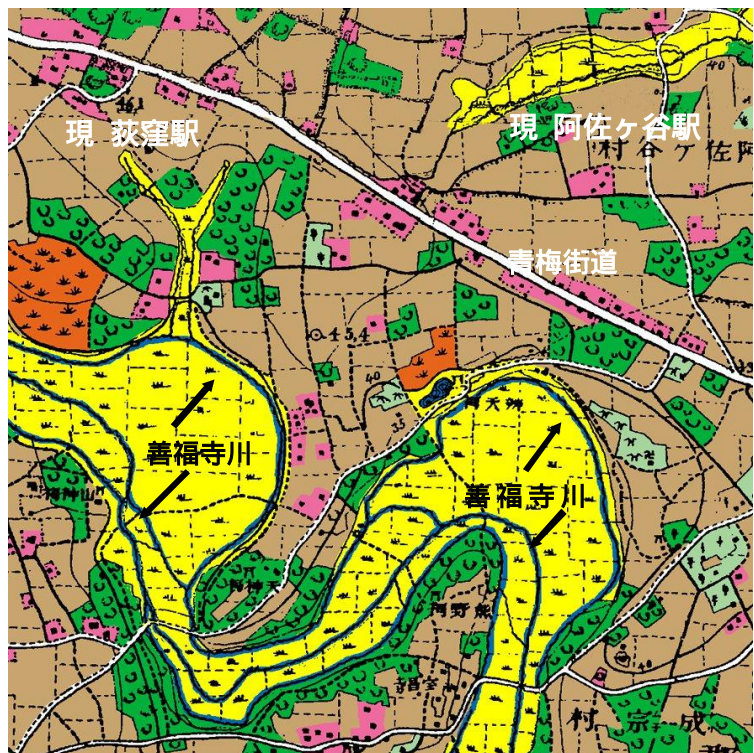


図 2-3 明治 13 年頃の杉並区中央部\* 1  
( 参考に現在の阿佐ヶ谷駅と荻窪駅の位置を表示)

また図 2-4 は昭和 22 年頃の航空写真で、上の図とほぼ同じ範囲を示したものである。既に開通していた鉄道の両側や青梅街道沿道などに市街地が広がっており都市化が進んでいることが分かる。しかしながら、善福寺川一帯の地域は図 2-3 に示す明治時代の頃の土地利用とほとんど変わっておらず、大規模な水田地帯が広がっている。また市街化された一帯は、明治の頃と比べ樹林地が減ってきている様



図 2-4 昭和 22 年頃の杉並区中央部(上図と同じ範囲)\* 2

注 : \* 1 参謀本部陸軍部測量局明治 13 年測量の図より引用

\* 2 昭和 22 年米軍撮影航空写真

子も見る事ができる。

図 2-4 の写真上で比較的大きな塊で樹林地と確認できる所は、そのほとんどは屋敷林や神社・仏閣となっている箇所である。これらの樹林地は現在でも本区の貴重な緑地空間として残されている。

図 2-5 は、本調査において平成 19 年 6 月 13 日に撮影されたもので、図 2-4 と同じ範囲である。都市化が進行し、全域に市街地が広がっていることが分かる。特に青梅街道、中杉通り、荻窪駅周辺は、高層建築物が屏風のように立ち並び、都市



図 2-5 平成 19 年 6 月の杉並区中央部

の高層化が進んでいる。変貌の

大きな箇所の一つは、善福寺川周辺である。昭和 22 年当時には大規模な水田地帯があったが、現在では水田は消失し、大規模な住宅団地や学校が見られ、まとまった緑の公園緑地があるものの、その他は住宅地と変化している。

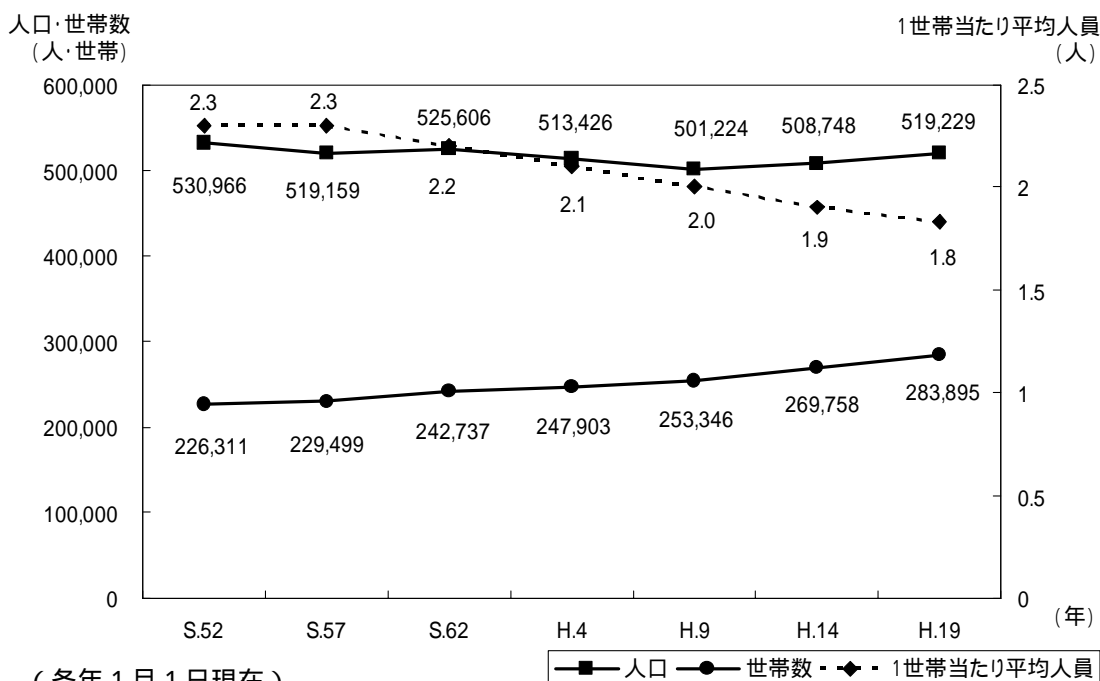
また、かつてはいく筋にも分かれていた善福寺川であるが、現在では河川環境整備事業や公園整備事業などにより区民のための貴重な緑地空間となっている。

写真内に示す矢印は、大田黒公園のみどりであるが図 2 3 に示す明治の地図にも表示されている台地に残る数少ない貴重な緑地といえる。

### 3 . 人口

本区の人口は、平成 19 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳では 519,229 人であり、23 区中では世田谷区、練馬区、大田区、江戸川区、足立区に次いで 6 番目に多い。世帯数は 283,895 世帯、1 世帯当たりの人員は 1.8 人である。

人口の推移では図 2-6 のとおり平成 9 年まではやや減少傾向であったが、それ以降は増加に転じている。また世帯数は増加が続いており、一世帯当たりの平均人員は近年減少し続けている。



(各年 1 月 1 日現在)  
住民基本台帳集計調査報告書 (杉並区)

図 2-6 人口・世帯数・世帯人員の推移

### 4 . 土地利用

本区の用途地域の指定状況は表 2-1 および図 2-7 のとおり、第一種低層住居専用地域の占める割合が 64.1%と最も高い。また、住居系用途地域全体では 2,918.5ha で、本区全体の 85.8%を占めている。

本区の土地利用状況は、建物の建っている土地 (宅地) の約 8 割が戸建住宅や共同住宅などの住宅用地であり、23 区中住宅地の比率が高く、住宅都市であることが分かる。また住宅地では戸建住宅からマンション等の集合住宅化が進んでおり、特に JR 中央線駅周辺や幹線道路沿道には多くの中高層の集合住宅が分布している。また、環状八号線より西側には比較的敷地面積

が広い宅地が多く残されている。

商業用地はJR中央線駅周辺や甲州街道、青梅街道、環状七号線、環状八号線等の幹線道路沿道に分布している。

また、大規模な公園やグラウンドは善福寺川、神田川沿いに多くが分布しており、農地は環状八号線西側の北部と南部に多く分布している。

表 2-1 用途地域の内訳

用途地域	面積(ha)	割合(%)
第一種低層住居専用地域	2,182.20	64.14
第二種低層住居専用地域	14.90	0.44
第一種中高層住居専用地域	414.90	12.20
第二種中高層住居専用地域	95.90	2.82
第一種住居地域	78.10	2.30
第二種住居地域	61.60	1.81
準住居地域	70.90	2.08
住居系	2,918.50	85.79
近隣商業地域	297.30	8.74
商業地域	133.30	3.92
商業系	430.60	12.66
準工業地域	52.90	1.55
区全体	3,402.00	100.00

## 凡 例

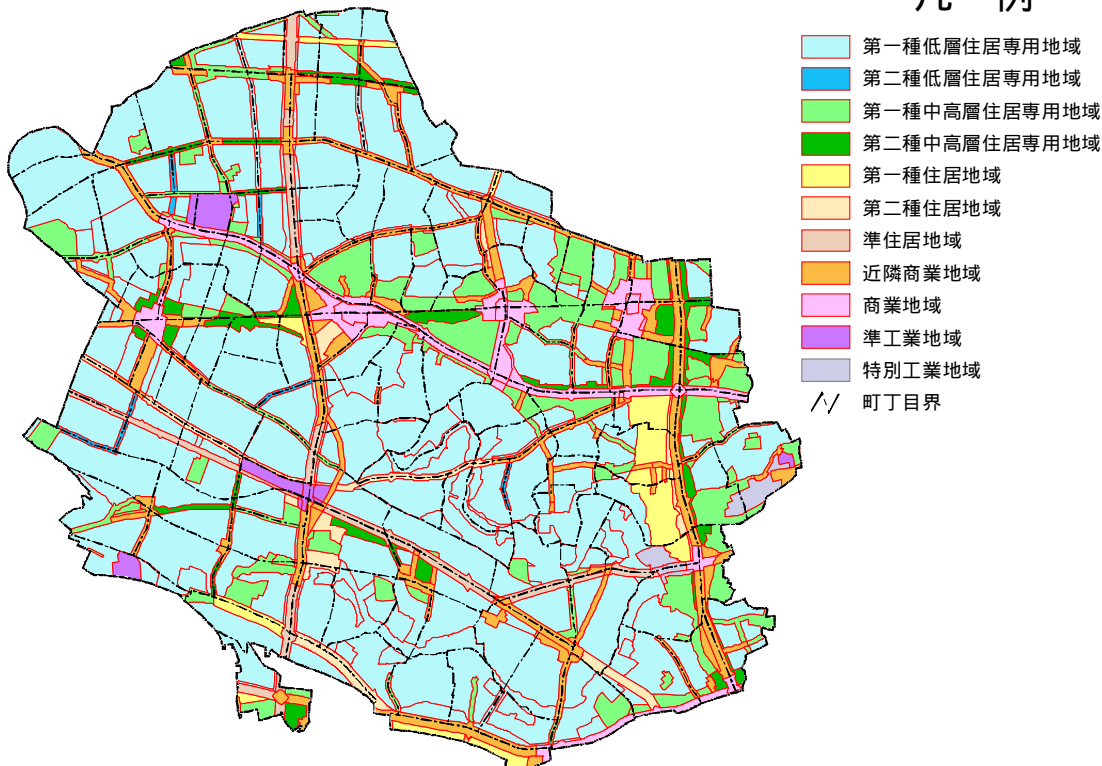


図 2-7 用途地域図(平成 19 年 3 月現在)



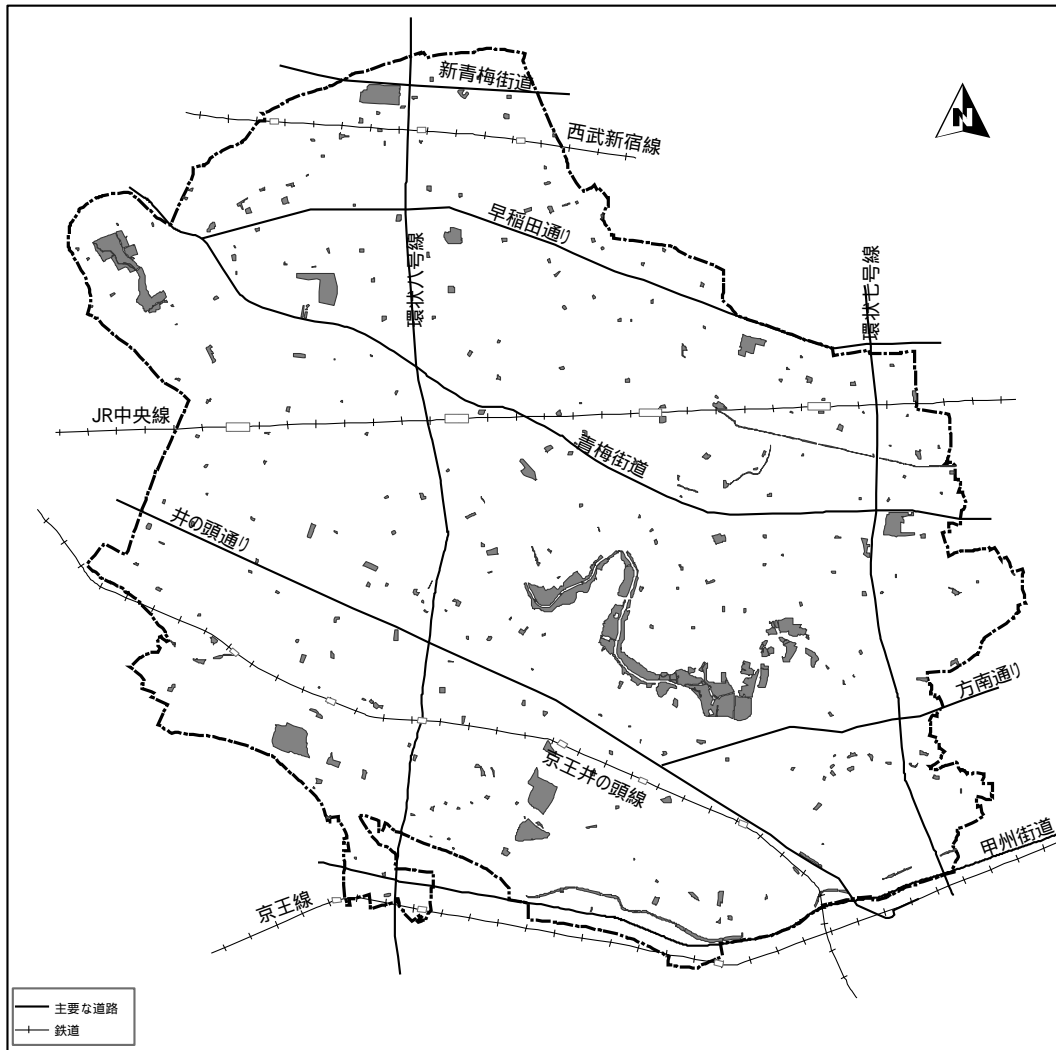


図 2-10 公園・緑地分布図

## 6 . 農地

本区の農地は、杉並区農業経営実態調査によると、平成 19 年 4 月 1 日現在 53.8ha であり区面積の約 1.6%である。またその多くは、区の北部と南西部に分布している。これら農地のうち 38.7ha が生産緑地地区の指定を受けている。

表 2-2 および図 2-11 は昭和 60 年以降の農地面積、農家戸数等をまとめたものである。農地面積については昭和 60 年度を 100 とすると平成 19 年度では 53.7 と面積比で約半数にまで減少している。農家戸数についても昭和 60 年度 430 戸に対して平成 19 年度では 183 戸と半数以下にまで減少している。

生産緑地地区に指定された農地は平成 4 年度の生産緑地法の改正に伴い平成 5 年度では 47.7ha となった。しかし、平成 19 年度までに約 10ha が指定解除されている。一方宅地化農地は平成 5 年度では 29.6ha あったもののうち、約半分が減少し平成 19 年度では 15.1ha となっている。

表 2-2 農地面積・農家戸数の推移

(各年度4月1日現在)

年度	農地面積 (ha)	増減率 60年=100	生産緑地 (ha)	構成比 (%)	長期営農 (ha)	構成比 (%)	宅地化農地 (ha)	構成比 (%)	農家戸数	増減率 60年=100
昭和 60	100.1	100.0	27.3	27.3	54.7	54.6	18.1	18.1	430	100.0
昭和 61	99.0	98.9	26.9	27.2	54.8	55.4	17.3	17.5	421	97.9
昭和 62	96.4	96.3	26.1	27.1	53.1	55.1	17.2	17.8	409	95.1
昭和 63	91.0	90.9	23.8	26.2	49.3	54.2	17.9	19.7	385	89.5
平成 1	89.7	89.6	24.3	27.1	49.6	55.3	15.8	17.6	377	87.7
平成 2	85.9	85.8	23.9	27.8	48	55.9	14	16.3	367	85.3
平成 3	84.3	84.2	24.3	28.8	47.1	55.9	12.9	15.3	338	78.6
平成 4	81.8	81.7	24.1	29.5			57.7	70.5	319	74.2
平成 5	77.3	77.2	47.7	61.7			29.6	38.3	276	64.2
平成 6	75.8	75.7	48.0	63.3			27.8	36.7	273	63.5
平成 7	73.4	73.3	48.6	66.2			24.8	33.8	261	60.7
平成 8	71.4	71.3	48.0	67.2			23.4	32.8	253	58.8
平成 9	70.6	70.5	46.5	65.9			24.1	34.1	239	55.6
平成 10	68.5	68.4	45.8	66.9			22.7	33.1	224	52.1
平成 11	68.0	67.9	43.9	64.6			24.1	35.4	221	51.4
平成 12	66.9	66.8	44.0	65.8			22.9	34.2	218	50.7
平成 13	65.7	65.6	43.6	66.4			22.1	33.6	216	50.2
平成 14	64.4	64.3	43.6	67.7			20.8	32.3	213	49.5
平成 15	61.0	60.9	42.2	69.2			18.8	30.8	208	48.4
平成 16	59.0	58.9	41.5	70.3			17.5	29.7	200	46.5
平成 17	56.4	56.3	41.1	72.9			15.3	27.1	195	45.3
平成 18	55.2	55.1	40.0	72.5			15.2	27.5	192	44.7
平成 19	53.8	53.7	38.7	71.9			15.1	28.1	183	42.6

注：杉並区農業経営実態調査から引用



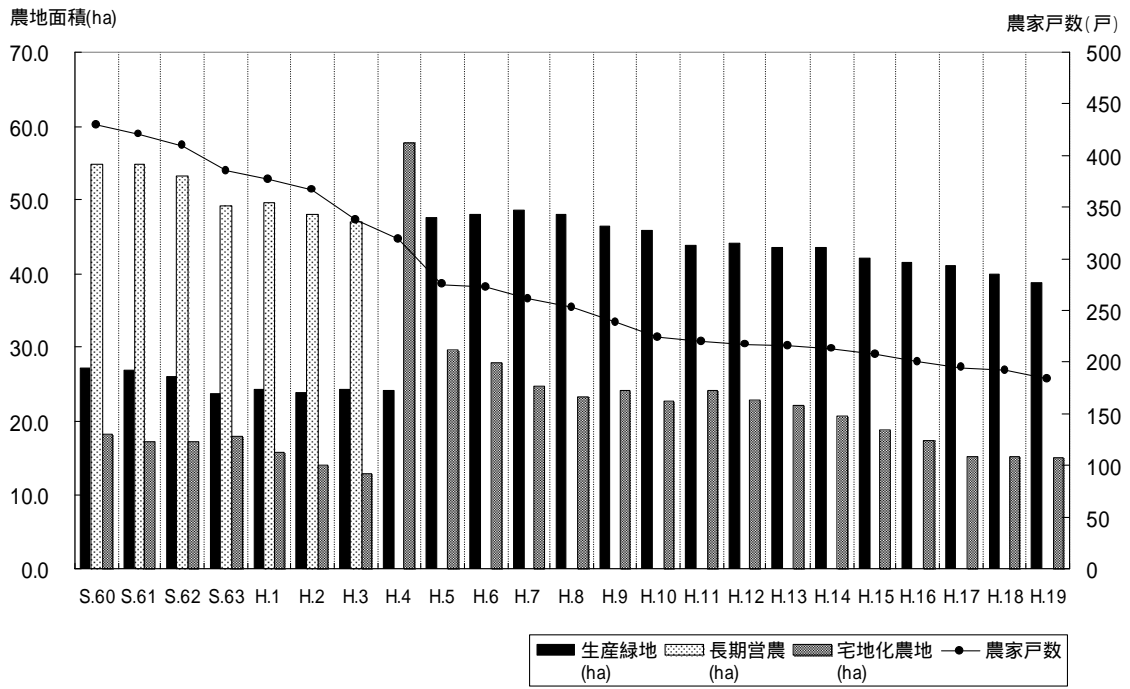


図 2-11 農地面積・農家戸数推移

## 7 . みどりの文化財

本区のみどりに関係する文化財は、表 2-3 のとおり杉並区が指定した天然記念物の樹木が 4 本と、東京都が指定した天然記念物 2 ヶ所、旧跡 1 ヶ所がある。

区指定の天然記念物はいずれも直径が約 70cm 以上の大木である。そして、都指定の大宮八幡宮社叢は、昔から薬草類の多いことを理由に指定された樹林で、特別緑地保全地区に指定されている。また、横倉邸のケヤキ並木は、直径 50cm 前後のものが人見街道沿いに並んでいる。

旧跡として指定されている櫛屋敷は、戦災を受けて昔の面影は薄れたといわれるが、今もなおケヤキの樹冠に包まれて、阿佐ヶ谷駅周辺の貴重なみどりとして地域の人々に親しまれている。

なお、本区の南部を流れる玉川上水は、1653 年に江戸市中へ水を供給するため多摩川の羽村堰より引かれたもので、高い歴史的価値をもち、豊かなみどりとともに将来にわたり保存していく必要があることから、東京都では歴史環境保全地域に指定しており、国の史跡に指定されている。

表 2-3 みどりに関係する指定文化財(平成 19 年 4 月 1 日現在)

### 杉並区指定天然記念物

種別	名称	所有者等	所在地等	指定年度
植物	荻窪八幡神社のコウヤマキ 1本	荻窪八幡神社	上荻4-19-2	昭和60年
"	尾崎熊野神社のクロマツ 1本	尾崎熊野神社	成田西3-9-5	昭和61年
"	和泉熊野神社のクロマツ 1本	和泉熊野神社	和泉3-21-29	平成2年
"	宗源寺のラカンマキ 1本	宗源寺	下高井戸4-2-3	平成7年

### 東京都指定天然記念物

名称	所有者等	所在地等	指定年度
大宮八幡社叢	大宮八幡宮	大宮2-3-1	昭和8年
横倉邸のケヤキ並木	横倉祐衛	高井戸東3-16	昭和10年

### 東京都指定旧跡

名称	所有者等	所在地等	指定年度
櫛屋敷	相沢家	阿佐谷北1-6-5	大正8年

## 8 自然環境

### 8 - 1 大気

大気汚染の主な発生源は自動車で、窒素酸化物と浮遊粒子状物質が問題となっている。近年はディーゼル車等の排出ガス規制が逐次強化され、徐々にその効果が現れている。本区では幹線道路等に測定器を設置し、常時測定を行っており、平成 18 年度は窒素酸化物については環境基準を達成している。

光化学スモッグについては、本区は日本で最初に発生したところであるが、平成 18 年の光化学スモッグ注意報の発令回数は 12 回であった。東京都全体では 17 回で過去 10 年間の平均回数 14.6 回より 2.4 回多い状況であった。

また、大気汚染物質の硫黄酸化物や窒素酸化物などが太陽光や酸素、水分などと化学反応を起こして硫酸や硝酸などに変化し、雨水に取り込まれて生じる酸性の強い雨である酸性雨は、杉枯れ現象などの原因となる新しい環境問題としてクローズアップされている。汚染のない大気の雨水は、大気中の二酸化炭素の吸収により pH5.5 前後といわれている。平成 18 年度の雨水の pH の平均値は 4.5 で最低値は 3.2 であった。

### 8 - 2 水質

区内には神田川・善福寺川・妙正寺川の 3 河川があるが、いずれの河川もコンクリートの垂直護岸が多くを占めている。しかし善福寺川の一部には親水性のある護岸整備を行っている箇所もあり、また川底や護岸から湧水が確認できる箇所もある。善福寺川御供米橋下流の湧水群は東京都の「東京の名湧水 57 選」に選定されている。

水質は下水道の普及によって改善されている。しかし集中豪雨時には、合流式下水道からの雨水を含んだ下水が河川に流入するため、一時的な水質の悪化が起こっている。

### 8 - 3 植生

区内に現存する代表的な植生としては、自然草地では善福寺池および和田堀公園内の池に見られる水生植物群落であるマコモ - ウキヤガラ群集等が、また自然林に相当するものでは、善福寺公園や善福寺川緑地内の一部の樹林、大宮八幡宮などの社寺林、および区内北部等に点在するケヤキ - シラカシ屋敷林が見られる。二次林では善福寺池周辺や善福寺川・神田川沿いに小規模に点在するコナラ - クヌギ群集、二次草地・

人工草地では区内南部のグラウンドなどにみられるシバ草地やオオバコ - カゼクサ群集などの踏み後群落がみられる。

## 9 . 人工衛星データによる杉並の都市熱状況

近年、「ヒートアイランド現象」と呼ばれる都市特有の気象現象が顕著となっているなか、都市のみどりのもつ微気象の緩和機能が注目されている。図 2-12 は、人工衛星データを画像解析して、杉並区の地表面温度を示したものである。

使用した衛星データは米国の LANDSAT5 号のもので、観測日は平成 18 年 8 月 29 日である（本年度の夏季期間は雲の出現が多く去年のデータとした）。データは、地上解像度 120m の熱赤外バンドである。観測時の気温は練馬のアメダスデータによると約 29 となっている。

地表面温度は 28 以上となっている箇所が多いが、水と緑が一体となった和田堀公園、善福寺川緑地、善福寺公園、その他の公園や樹林地とその周辺では 25 以下となっており、まとまりのあるみどりが低温域を形成していることが分かる。

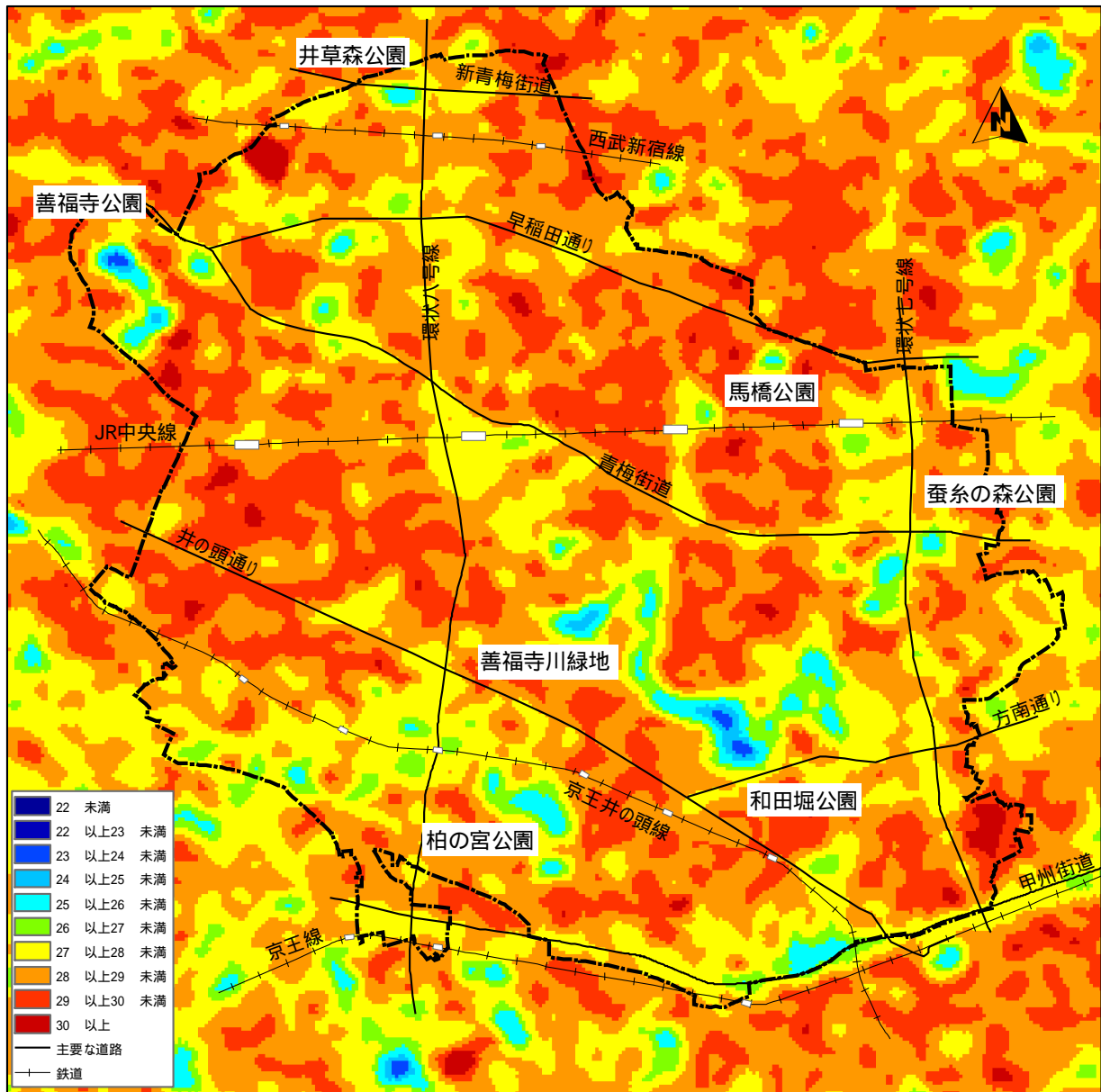


図 2-12 人工衛星からみた杉並の都市熱状況 (2006 年 8 月 29 日午前 10 時ごろ)

使用衛星	LANDSAT5号
撮影年月日	平成 18 年 8 月 29 日
撮影範囲	PATH-ROW 107-35( ほぼ関東全域、南北 180 km × 東西 180 km )
使用データ	BAND6 ( 解像度 120m )

## 10. みどりの計画と施策

杉並区では平成11年3月に「杉並区みどりの基本計画」が策定され、平成17年4月に計画の一部見直しを行った。

「みどりの基本計画」は、都市緑地法に定められたみどりに関する総合的な計画で、都市公園の整備、民有地などのみどりの保全、緑化、区民とのパートナーシップによる緑化活動の推進などその具体的な方策が総合的に示されている。

また本計画は、区の基本構想である「杉並区21世紀ビジョン」の総合目標「区民が創る『みどりの都市』杉並」を実現するための重要計画として、「杉並区まちづくり基本方針（平成13年度改定）」や「杉並区環境基本計画（平成14年度改定）」等と相互に整合を図りながら施策展開を図っている。

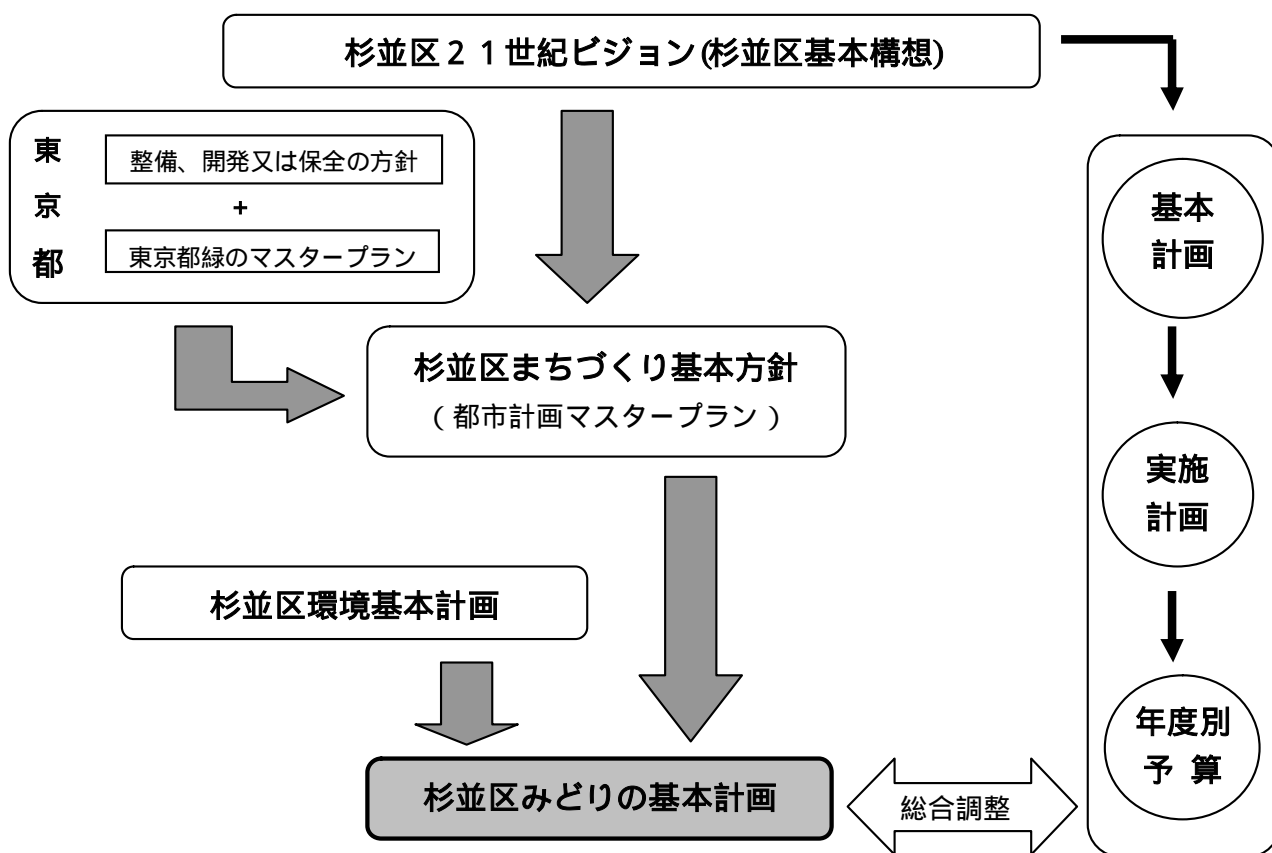


図2-13 『みどりの計画と施策』の位置づけ

## 杉並区みどりの基本計画の施策体系 「みどり39プラン」

身近なみどりを守る	
樹木・樹林地の保全	1) 樹木等の保護指定制度の充実 ・貴重木の保全 2) 市民緑地「いこいの森」の設置 3) 特別緑地保全地区の指定 4) 寄付樹木制度の充実
農地の保全	5) 生産緑地の維持・拡充 6) 市民農園等の設置 7) 営農への支援 ・苗木等の育成委託の実施 ・農産物直売マップの作成
開発等の規制と誘導	8) 緑化指導の充実 9) 開発許可制度の運用
新しいみどりを創ろう	
公園等の整備	10) 地域公園の整備 11) 身近な公園等の整備 12) 個性的な公園の整備 13) 公園等のリフレッシュ 14) 都立公園の整備の要請
まちなみの緑視景観の向上	15) 接道部緑化の助成制度の充実 16) 区立施設の緑化の要請 17) 公共公益施設の緑化の要請 18) 民有地緑化の推進 ・苗木等の配布 ・屋上・壁面・ベランダ緑化の支援 ・私立学校、企業「ラウド」等の緑化の要請 ・緑化施設整備計画の認定
みどりの質を高めよう	
みどりと親しむ施設の整備	19) 学校等のエコアップ 20) 生きものの生息場所の保全と創出 21) 水のみちの整備
みどりについての意識の向上	22) 環境学習の充実 23) みどりの相談所の充実 24) みどりの情報の発信 ・みどりの新聞等の発行 ・みどりの情報コーナーの設置 ・みどりのガイドマップの作成 25) みどりのイベントの開催 ・環境月間行事の充実 ・みどりの区民会議の開催
みどりと水のリサイクルの推進	26) 剪定枝・落ち葉のリサイクルの推進 27) 雨水の地下浸透化の促進
みどりでまちをつなげよう	
みどりのベルトづくりの推進	28) みどりの拠点づくり 29) みどりと水のネットワークづくり 30) 河川の緑化推進 31) 道路の緑化推進
みんなでみどりを育てよう	
区民とのパートナーシップ	32) みどりのボランティア活動の推進 33) 区民主体によるみどりづくり 34) 緑化活動への支援 ・みどりの基金による緑化活動団体等への支援 ・みどりの表彰制度の創設 ・町会・商店会等の緑化活動の支援 35) みどりの協定の締結促進 ・緑地協定 ・生けがき協定 ・みどりの育成協定 36) 地区の指定 37) みどりの基金の積立・運用
みどりの調査・企画	38) みどりに関する調査の実施 39) 杉並区緑化推進連絡会の運営

図 2-14 みどり39プラン

